

白沢地区の地域づくりのこれまで

令和5年

○「しらさわみらい会議」開催

令和5年2月から7月までに、発起人が中心となり、高崎経済大学の櫻井教授をアドバイザーとして、「しらさわみらい会議」を全4回開催しました。延べ119名の皆さんにご参加いただき、白沢の良いところや課題などを話し合いました。その結果、世代間・地域間での交流が薄れていることがわかり、「住民一人ひとりが繋がり合い、連携し、安心して暮らせる町にしたい！」また「白沢の魅力を発信したい！」という共通の想いが見えてきました。最後に櫻井教授から、今後は少人数で皆さんに出していただいた意見を具体的に話し合っていくってはどうかという提案があり、皆さんに同意いただきました。



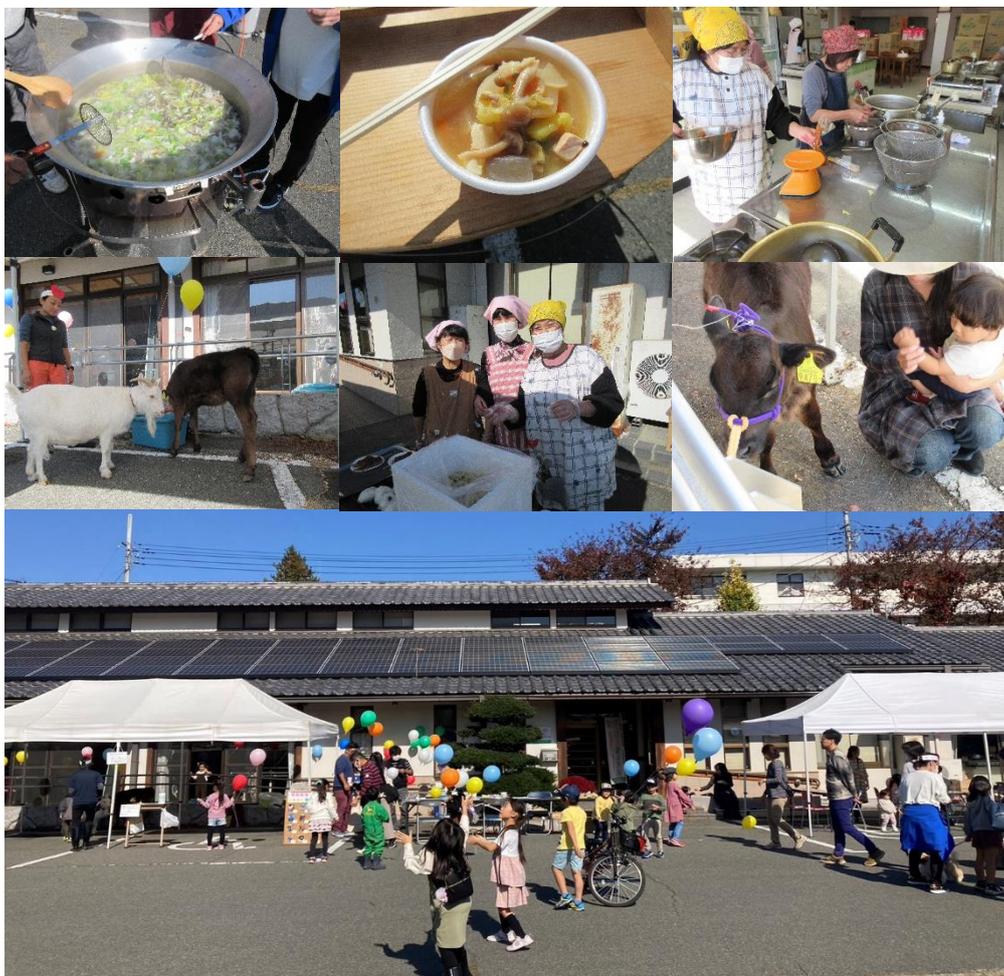
○「しらさわみらい会」発足

「しらさわみらい会議」の結果を受けて、令和5年8月に、発起人や「しらさわみらい会議」に参加していただいた方を中心に15名の役員で、「しらさわみらい会」が発足しました。「しらさわみらい会」は、「しらさわみらい会議」で出していただいた意見を基に、地域課題を解決し、ずっと安心して暮らせる住みよい町を、地域のみなさんと連携して作っていくことを目指しています。

なお、令和5年度の役員は、発足が年度の途中であったため、櫻井教授のアドバイスを基に地域性を考慮しながら、発起人会や事務局などの他薦で打診し、暫定的に引き受けていただきました。

○「しらさわみらい会キックオフイベント」開催

令和5年11月3日、白沢町文化祭との連携行事として、キックオフイベントを開催しました。団子汁の配布、ヘリウム風船の配布、動物とのふれあいコーナーを設け、子どもからお年寄りまで幅広い世代の方に楽しんでいただきました。



○フォト幕を小・中学校に贈呈

担い手の発掘を目的として、白沢小・中学校に卒業式、入学式用のフォト幕を贈呈しました。

